



2006
平成18年2月

【目次】

平成17年12月定例会	2
決算審査特別委員会	5
常任委員会レポート	6
特別委員会の行政視察報告	8
一般質問	10
編集後記	19
市民の声	20

議 会 だ っ け り



白
山
市



平成17年第4回市議会定例会

民活による経費節減と住民サービス向上に

新年度より、公共施設の指定管理者が決定
白山市一体化に向け、白山ろくに光ファイバー網整備

今定例会で審議した議案は、次のとおりです

◆議会議案…3件 ◆人事案…1件 ◆条例案…8件
◆補正予算案…8件 ◆事件処分案…39件 ◆報告案件…6件
◆決算の認定…76件 ◆請願…1件
すべて可決、認定、答申、採択

議会議案

3件

国へ強く求める意見書を提出

○真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書

・真の地方分権改革を実現するため、3兆円規模の確実な税源移譲をはじめとする地方改革案に沿って、平成19年度以降も第2期改革を強く要望する。

提出者 大本久男

全員賛成

○議会制度改革の早期実現に関する意見書

・本格的な地方分権時代を迎え、住民自治の根幹をなす議会が役割と責任を果たすため、抜本的な制度改革を強く求める。

提出者 安田竹司

全員賛成

○高金利引き下げに関する意見書

・国民生活を不安に陥れている多重債務問題の最大の要因は、貸金業者の高金利による過剰融資である。国民生活の安定のため、利息制限法の制限金利の引き下げをはじめとした3項目の実現を強く要望する。

提出者 高川篤文

全員賛成

人事案

1件

○人権擁護委員候補者の推薦について答申

北村敏明(下野町) 村上喜久男(安養寺町)

吉田桂子(吉野)

全員賛成

条例案

8件

○白山市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

・地方公務員法改正により、人事行政運営状況の公表を責務化 **全員賛成**

○白山市モーター類似施設の規制に関する条例

・モーター類似施設の建設を規制 **全員賛成**

○白山市情報公開条例及び白山市個人情報保護条例の一部を改正する条例

・指定管理者に対し、施設の管理に関する情報の公開・個人情報保護の保護を市に準じるよう規定 **全員賛成**

○白山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

・育児または介護を行う職員の早出遅出勤務の規定を追加 **全員賛成**

○外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例

・外国の地方公共団体への派遣について、派遣期間のうち市長に協議が必要となる期間を3年超から5年超に改正 **全員賛成**

○白山市農林水産加工販売施設条例の一部を改正する条例

・「かわち農林水産物処理加工施設」と「鳥越農林水産物直売・食材供給施設」を追加 **全員賛成**

○白山市農村文化伝承館条例の一部を改正する条例

・「そば打ち」に係る使用料を規定 **全員賛成**

○白山市勤労者体育施設条例の一部を改正する条例

・勤労者体育施設に「山島多目的広場」を追加、使用時間を規定 **全員賛成**

12月補正予算

補正予算合計

増額 7億0,344万円
総額 928億1,608万円

一般会計補正予算

増額 8億4,429万円
総額 527億3,225万円

歳入の主なもの

地方交付税 2億1,386万円
分担金及び負担金 2,413万円
国庫支出金 5,983万円
県支出金 2,903万円
繰越金 2億9,162万円
市債(借金) 1億9,100万円

12月補正予算

一般会計

歳出の主なもの

○総務費……………増額 4億2,388万円

旧法務局松任出張所取得と建物改修 2,440万円
 白山レイクハイランド(瀬女高原スキー場)への補助金 …………… 1億2,254万円
 白山麓地区へ光ファイバー網整備 1億8,500万円
 美川地域公共施設へあさがおテレビ接続 370万円

○民生費……………増額 1億7,057万円

障害者自立支援法に伴うシステム開発 2,600万円
 高齢者の公衆浴場利用助成金 …… 1,116万円
 法人保育園の入所児童増加に伴う運営費補助金
 (8保育園で増加数129人) …………… 5,959万円

○衛生費……………減額 443万円

日本脳炎予防接種の中止 …… ▲2,000万円
 簡易水道施設設備に対する補助金 …… 400万円

○農林水産業費……………増額 2,499万円

蝶屋土地利用組合へ大豆等播種機補助金 110万円
 平加地区排水路改修事業負担金 …… 400万円
 小柳地区用水路改修事業補助金 …… 151万円

○商工費……………増額 3,927万円

延払による機械設備貸与事業として、石川県鉄工
 機電協会へ預託 …………… 1,557万円
 白山南交差点に観光インフォメーションボード設
 置工事 …………… 2,000万円
 新宿区モア4番街通りにて物産販売・観光PR・郷
 土芸能演出 …………… 300万円

○土木費……………増額 4,841万円

鶴来地区森島町地内の消融雪施設整備 1,720万円
 松任運動公園借地の買い取り …… 2,902万円

○消防費……………減額 155万円

○教育費……………増額 1億4,005万円

H18年度小学校の普通教室と特殊学級教室の増設(東
 明、北陽、旭丘、松南、明光、吉野谷小) … 2,390万円
 石川小学校の空調設備実施設計 …… 250万円

H18年度中学校の特殊学級教室の増設 139万円
 松任中学校プールの屋根等改修 …… 1,470万円
 幼稚園就園奨励補助金と徳野学園への幼稚園施
 設等整備補助金 …………… 1,516万円
 松任博物館管理事業 …………… 105万円
 体育施設管理公社へ補助金と委託料… 2,995万円

特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定分)

増額………… 1,218万円

歳入 国庫支出金、繰入金

歳出 直診勘定分へ白峰診療所の赤字額を繰
 出し…………… 700万円

国民健康保険特別会計(直診勘定分)

増額………… 1,501万円

歳入 診療収入、繰入金、繰越金

歳出 医薬品購入(白峰診療所)………… 945万円

介護保険特別会計 増額………… 193万円

歳入 繰入金

歳出 人件費の補正…………… 193万円

簡易水道事業特別会計 増額………… 160万円

歳入 一般会計繰入金

歳出 人件費の補正…………… 160万円

観光事業特別会計 増額………… 681万円

歳入 繰入金

歳出 スノーモービル購入(セイモアスキー場) 124万円
 白峰温泉スキー場の災害復旧工事ほか 557万円

下水道事業特別会計 減額…1億7,840万円

歳入 使用料及び手数料、国庫支出金、繰入金
 の増額と市債の減額

歳出 金剣踏切雨水ボックスの施工がH18
 年度実施に変更………… ▲1億7,500万円
 番匠町地内中車道踏切での汚水幹線工
 事の精算…………… ▲2,000万円

*一般会計、各特別会計とも、国の人事院勧告を
 受け、人件費の補正があります。

債務負担行為の補正

- 旧法務局松任出張所跡地取得事業（平成17～22年度まで） 1億2,950万円
- 白山麓地区情報基盤整備事業（平成18年度）…………… 9億5,770万円
- 白山市松任農業公社に係る融資金に対する損失補償その2（平成17年度）…………… 2,000万円
- 松任中学校プール棟屋根等改修事業（平成18年度）…………… 3,430万円
- あさひ荘苑福増線道路改築事業（平成17～18年度）…………… 1,700万円
- 福正寺竹松線道路用地先行取得事業（平成17～27年度）…………… 3,790万円
- 移動図書館車購入事業（平成18年度）…………… 1,000万円
- 倉部川1号雨水幹線整備事業（平成18～20年度）…………… 7億4,000万円

事件処分案

39件

- 石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合規約の変更
・新志賀町、新加賀市、新輪島市（予定）発足による規約の変更 **全員賛成**
- 石川県市町村職員退職手当組合規約の変更
・新輪島市発足（予定）による規約の変更 **全員賛成**
- 石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更
・新志賀町、新加賀市、新輪島市（予定）発足による規約の変更 **全員賛成**
- 町及び小字の区域の変更 **全員賛成**
- ・地籍調査事業により北辰中学校敷地を一部変更 **全員賛成**
- 財産の譲渡
・（財）石川県林業公社の経営改善と森林保全のため、市と公社の分収造林契約を変更 **全員賛成**
- 指定管理者制度導入に関する案件
- 白山市森島コミュニティセンターの指定管理者の指定
- 白山市多目的コミュニティ施設の指定管理者の指定
- 白山市学習等供用施設の指定管理者の指定

- 白山市シーサイド松任の指定管理者の指定
- 白山市吉野谷セミナーハウスの指定管理者の指定
- 松任安楽庵の指定管理者の指定
- 白山セミナーハウス望岳苑の指定管理者の指定
- 白山市体育施設の指定管理者の指定
- 白山市横江テニスコートの指定管理者の指定
- 白山市横江多目的ニースポーツ広場の指定管理者の指定
- こがね荘の指定管理者の指定
- 白山市民温泉の指定管理者の指定
- かわちふるさと館の指定管理者の指定
- 吉野谷保養センターくろゆり荘等の指定管理者の指定
- 白山市ふれあいセンターの指定管理者の指定
- 白山市老人福祉センターの指定管理者の指定
- 白山市老人生きがいセンターの指定管理者の指定
- 美川ボランティアセンターの指定管理者の指定
- 白山市宮農飲雑用水施設の指定管理者の指定
- 瀬波川キャンプ場の指定管理者の指定
- 瀬女コテージ村の指定管理者の指定
- 白山市農村集落センターの指定管理者の指定
- 白山市農林産物加工販売等施設の指定管理者の指定
- 吉野かきもち加工施設の指定管理者の指定
- 白山市農業共同利用施設の指定管理者の指定
- 白山市農村公園の指定管理者の指定
- 鶴来農村環境改善センターの指定管理者の指定
- 白峰農業体験学習施設の指定管理者の指定
- 白山市商工施設の指定管理者の指定
- パーク獅子吼の指定管理者の指定
- 瀬戸丸山公園施設の指定管理者の指定
- 白山市観光宿泊施設の指定管理者の指定

決算の認定

平成16年度歳入歳出決算は、合併前の1市2町5村の一般・特別会計（平成16年4月1日から平成17年1月31日まで）と合併後の白山市の分（平成17年2月1日から3月31日まで）です。

○旧1市2町5村関係 歳入歳出決算の認定

・松任市一般会計……………	賛成多数	反対1人
・吉野谷村一般会計……………	賛成多数	反対1人
・尾口村一般会計……………	賛成多数	反対1人
その他一般・特別会計については、……………	全員賛成	

○白山市関係 歳入歳出決算の認定

全会計について……………	全員賛成	
--------------	------	--

平成17年第1回臨時会 11月28日（月）

○白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・国家公務員の給与改定に準じて給料表、初任給調整手当及び扶養手当を改正……………	賛成多数	反対1人
--	------	------

○白山市商工施設条例の一部を改正する条例

・サンライフ松任、安養寺研修センター、尾口山菜加工施設の管理を指定管理者に変更、松任中小企業福祉会館の規定を削除……………	全員賛成	
---	------	--

報告

- 白山市営スキー場の指定管理者の指定
- 交流研修施設 白山里の指定管理者の指定
- 以上34件 **全員賛成**
- （財）ふるさとみかわの経営状況
- （財）鶴来町公共施設等管理公社の経営状況
- （財）河内産業開発公社の経営状況
- （財）吉野谷村地域振興公社の経営状況
- （財）鳥越村余暇健康開発公社の経営状況
- （財）尾口村ふるさと公社の経営状況
- 以上説明を受けました。

6件

決算審査特別委員会 (委員長 村山 一美)

決算の認定

先の第3回市議会定例会において、当委員会に閉会中の継続審査として付託された議案第113～188号の平成16年度松任市一般会計をはじめとする各会計決算について、11月中、合わせて6日間にわたり委員会を開催した。

採決の結果、議案第144号および議案第156号については賛成多数で、その他のほかの74議案については、全会一致をもって認定すべきものとして決した。

主な意見

○歳入（一般会計）

財政状況が厳しい中、自主財源の安定的な確保に努めること。特に、市税や保育料等の滞納・未納の実態を絶えず把握し、納付した者との間に不公平が生じないよう取り組むこと。

○歳出（一般会計）

総務費

固定資産税等に対する前納報奨金や納税組合奨励金について、今後検討すること。また、ケーブルテレビ加入促進のためにも画像品質の向上を図るとともに、市のホームページに

ついては、使いやすく活用されるよう工夫すること。

民生費

災害等の緊急時に備え、独り暮らし老人等に対しては、民生委員と連携を取るなど対策を講ずること。

衛生費

保健予防事業の拡充を図ること。また、市営墓地が不足している現状であり、現在の墓地公苑の拡大や新設を検討すること。

農林水産業費

アメリカシロヒトリや松くい虫等について、薬剤・時期・方法など効果のある防除策を検討すること。また、米の消費拡大について、県外に向けても積極的にPRすること。なお、鶴来地域や白山ろく地域の地籍調査については、地域の実態がわかる間に、関係者の理解を得て、早急に進めること。

商工費

第三セクターやスキー場等の運営について、見直しを検討すること。

教育費

幼稚園教諭の職場環境や臨時職員の賃金を改善すること。また、博物館事業について、子供も興味を持てるような事業を展開する

こと。

○下水道事業特別会計

下水道建設工事について、地元企業への委託や専門技術職員の育成などを検討すること。

◇全般を通して

財政事情が厳しいことを踏まえ、起債については今後も有利なものを活用し、繰上償還等を図りながら少しでも支出を抑えるよう努力すること。また、三位一体の改革が進む中、地方の財政は一層厳しい状況になるが、市民サービスのより一層の向上を図り、ゆとりと豊かさを実感できる町づくりのため、常に企業の経営感覚とコスト意識を持つて、健全な財政運営・自治体経営に努めること。

◇総括

平成16年度は、合併という特別な要因を踏まえ、合併前の1市2町5村から「白山市」へ業務が移行された。

これからは、「白山市まちづくり計画」に掲げる将来像「自然と伝統を活かし、心豊かで活力あるまち」白山から日本海を1つに8つの魅力のスクラム」の実現を目指し、地域の特性を生かした均衡ある発展と一体感ある町づくりを計画的に進めていく必要がある。

常任委員会レポート

総務企画常任委員会

美川地域に

あさがおテレビ放送開始

【質問】 加入率アップを図れ。

【答え】 各種行政情報や防災情報をあさがおテレビで放映して市民の加入促進に努める。

旧法務局松任出張所を購入

【質問】 旧金沢地方法務局松任出張所の土地・建物を購入することになった経緯と今後の活用を示せ。

【答え】 松任出張所が行政改革の一環として金沢地方法務局へ統合された。隣接する松任学習センター、周辺公共施設の駐車場として整備するため購入する。建物は、平成18年度より当分の間、生涯学習課・文化課が松任文化会館4階から移転し分庁舎として使用する。

地域振興補助金

【意見】 白山レイクハイランド(株)は白山瀬女高原スキー場を運営している第三セクターであり、旧尾口村より継承して経営支援をするものだが、今後は会社の経営方針やスキー場の運営について関係者とともに十分に検討するよう求める。

一般会計補正予算

【質問】 今後の財政計画の見通しを示せ。

【答え】 今年度予算が合併協議の財政計画を上回った原因は、物件費および投資的経費の増大が主なものである。今後の方針では財政規模を縮小し、新市建設計画の財政計画を下回る予定。財政状況の変化を踏まえて事務事業の重点化や効率化、市債の繰り上げ償還等を進めて財政基盤を長期的に安定化させたい。

そのほか「白山市行政改革大綱(案)」について多数の意見が出された。



生涯学習課、文化課として再利用の旧法務局松任出張所

文教福祉常任委員会

放課後児童クラブ事業

【質問】 明光小学校ピノキオクラブの施設整備費の総額を示せ。

【答え】 現在整備中の蕪城あさがおクラブが5800万円であり、ほぼ同額の規模で考えている。

【質問】 そのほかの児童クラブは、学校の改築に合わせて順次整備していくのか。

【答え】 そのように整備する。

【意見】 明光小学校は数年後に改築予定だが、改築時に支障が起きぬよう整備してほしい。

白山市学校統合検討委員会

【質問】 白山市学校統合検討委員会の答申で示された学校の改築年度を示せ。

【答え】 白山ろくの統合小中学校を最優先し、続いて美川小、朝日小、松南小、明光小、美川中の順になっている。美川小学校を平成18年度中に着手し、その後朝日小学校と松南小学校を同時に着手したい。朝日小、松南小、明光小などで、移転が必要となれば、用地買収等で開校までに時間がかかることもある。

【質問】 白山ろくの統合小中学校の問題が長期化しており、後の計画がつかえている。急いでほしい。

【答え】 すべて早めに取り組みたい。

【質問】 白山市統合小中学校建設基本構想検討委員会について。

【答え】 11月下旬に初会合を行った。今後は月1回、合計5回行いたい。教育委員会からたたき台を提案し、委員会で検討し答申を出していただく。

その他の事業についての意見

【意見】 通学安全指導員について、見回る時間の延長よりも、指導員の増員を望む。

【意見】 蕪城小学校のれんが部分の安全性確保を望む。

【意見】 医療費抑制のため、ジェネリック医薬品(新薬の特許が切れた後、販売される薬)の活用を望む。

【意見】 小中学校の通学路の安全確保のため、歩道の除雪の緊急対応を望む。

常任委員会レポート

生活経済常任委員会

商店街活性化推進事業

質問 商店街賑わい創出支援事業補助金の対象はどこか。また、どのような内容か。

答え この補助金は、商店街活性化のため、平成17年度に県が新たに作った助成制度で、県と市が連携してにぎわい創出

につなげるものである。2つの事業があり、今回は、どちらも安田町商店街協同組合が採択された。1つは、商店街集客力アップ支援事業として、酒蔵を

改造し、ミニコンサートなどが可能なイベント会場を新設するものである。(補助率4分の

1、限度額150万円)。もう1

つは、商店街活性化調査事業として、鍋の新メニュー「白山鍋セット」の開発に関する調査をするものである。(補助率3分の1、限度額50万円)。

意見 商店街活性化に対する各種補助金について、多く活用されるよう、商店主など広く情報

の提供を行いたい。

指定管理者の指定

質問 集会所について、市所有で指定管理者の指定がされた施設とそれ以外の施設の間に、修繕等で不公平が生じないか。

答え 建設時の補助の関係から、集会所には市所有とそれ以外のものがある。今回、町内会が指定管理者に指定された市所有施設についても、町内会との協定により、従来どおり維持管理は町内会で行う方向で検討したい。

意見 市営スキー場を含む指定管理者の指定については、初めての試みであることから、指定管理者に対し、適切な指導をされたい。



建設企業常任委員会

福正寺竹松線道路用地

先行取得事業

質問 福正寺竹松線道路用地先行取得事業の目的は。

答え 業者からの宅地分譲計画を受け、今後新幹線建設が進行した場合、関連道路の建設が難しくなるので、先行取得する。

鶴来地区消融雪施設整備事業

質問 森島町地内の消融雪装置整備を説明せよ。

答え 現在工事中の路線の延長で来年度予定していたが、国の予算が決定したため整備する。

下水道事業特別会計

質問 基金の現在額は。

答え 6億9948万円。

白山市モーター類似施設の規制に関する条例について

質問 規制は新築だけか。

答え 大規模修繕、改装も規制の対象である。

質問 モーター類似施設建築審議会は立ち上がっているか。

答え 条例施行後立ち上げの予定。

質問 シティーホテル建築の際も審議会にかかるのか。

答え 建築確認申請の内容で判断できるので、審議会にはからない。

意見 条例の罰則規定に違反の抑止効果があるのか疑問だ。今後十分な検討を望む。

その他の質問

質問 消融雪施設が故障した場合、除雪の対応は。

答え 道路幅により除雪機械で対応する。

質問 耐震強度偽装が問題になっている。市内に当該建物はあるか。

答え 調査を県へ依頼している。



森島町地内

議会運営委員会行政視察報告 (委員長 大本 久男)

白山市議会・議会運営委員会では、地方分権時代にふさわしい議会を目指しています。

議会活性化の方策として、市民にとって分かりやすく質問者の意図が明確に伝わる一問一答方式の導入を要望する声が、議会内の会派からありました。前向きに検討するため、先進地である宮城県岩沼市と福島県福島市の議会を視察研修してきました。

一般質問における一問一答方式は、議会の監視機能の強化と政策提言機能の発揮を狙いとしています。

その効果として、議員と執行機関が対面することから相手の表情を読み取ることが可能となり、論議が活発に行われ、議場に活気が満ち緊張感が生まれます。また議員が一般質問の通告書を詳細に作成し、首長の施策への疑問点を問うとともに十分に調査した結果に基づいて自らの政策を提言するようになります。結果、閉会中も議員活動を積極

的に行う必要が生じ、ベテラン議員から質問の応酬や時間配分など目の当たりに勉強できることを評価する声がありました。市民からは分かりやすくなったとの意見も寄せられていました。

実施に当たっては、議場中央部に一般質問者用の第2演壇を設置し、執行部席にも答弁用のマイクを設置しています。

改修費用や議会日程の調整など、まだまだ多くの課題がありますが、今後とも本市議会において十分に議論を重ね、前向きに検討していきたいと考えています。



岩沼市の議場

交通対策特別委員会行政視察報告 (委員長 北川 謙一)

白山市に 新幹線車両センター建設

10月25日から26日にかけて長野新幹線車両センターおよび塩尻市の地域振興バスについて視察研修してきました。

センターは、長野駅から北へ約10キロメートルの位置にあり、以前は田んぼとりんご畑で、面積は11ヘクタールあります。

センターの持つ機能として、仕業検査(48時間以内、パントグラフや走行装置の検査)や交番検査(30日以内または3万キロメートル以内、パントグラフやブレーキおよび電気機器の動作確認等の検査)が行えます。

従業員はJR社員61人、協力会社社員83人で、半数が地元雇用です。

7キロメートル先の今井駅は、本市に置き換えれば松任駅周辺に当たり、参考として騒音・振動を体験してきました。騒音は在来線で69〜72デシベル、新幹線で70〜71デシベルと変わらず、ロングレール

ルであることから振動もほとんどありませんでした。

塩尻市では、昭和56年路線バスが次々と廃止されたことから「塩尻市民の足を守る会」が発足しました。試行運転を経て地域振興バスは平成13年4月より本格運行し、1日2〜5便、料金は一律100円、就学前の子どもは無料となっています。平成16年度実績で利用人数は約13万人、1便平均15・3人と高い利用率を保持しています。

バス運行にかかる費用は大きく、目的を絞ったコース・時間帯の検討などが必要だと痛感しました。



少子化対策特別委員会行政視察報告（委員長 撫子 順一）



狛江市児童センター

11月16、17日の2日間、東京都武蔵野市、狛江市を視察研修してきました。

○子育てSOS支援センター（武蔵野市：人口約13万人）

虐待対策機能を強化した先駆型の支援センターとも言われ、子供と家庭に最も望ましい支援サービスを紹介、提供しています。設置に当たっては子育てSOS支援条例を制定し、市民に虐待通報を義務化するなど、地域全体で子供を見守っています。主な業務は、出前相談、電話による夜間休日相談、要保護家庭に対

するショートステイなどがあり、センターを中心に関係機関を包括したネットワークが構築されています。

SOS支援センターは一時的なもので、大切なのは、本来あるべき親子の姿を虐待する側、される側に気付いてもらうことにあります。

○児童館を活用した子育て環境の整備（狛江市：人口約7万5000人）

子供を取り巻く環境や子育てニーズの変化に対応し、財政上の効果などを総合的に評価した上で、児童館を社会福祉法人に委託しています。事業はおおむね好評を得ており、来館者数の増加を見てもそれは明らかです。今後は、広い世代の子どもたちをカバーする居場所づくりを中心に虐待対策機能の充実を図りたいとのことです。

理念を持って一生懸命取り組む社会福祉法人の力を生かし、行政としてサポートしていく姿勢には見習うものがありました。

議会だより編集委員会行政視察報告（委員長 中西 恵造）

市民に親しまれる
議会だよりを目指して

11月1日、2日の日程で全国的にも評価の高い兵庫県安富町・播磨町議会の広報広聴特別委員会を視察しました。

「議会だよりやすとみ」は昭和56年1月創刊で、委員6人が編集作業に当たっています。

編集基本方針を定める委員長・副委員長から活動計画や作成方法などについて詳細に説明を受けました。原稿用紙の割り付けの上に紙面を作りあげていくなど、作成要領に基づいた手法は、私たちにとても大変分かりやすいものでした。

住民が関心を寄せる問題を執行部とは違った目線で調査し、そこで得た情報を提供するために議会だよりを作っている姿は、大変参考になりました。

播磨町は議員17人のうち6人が女性で、委員会においても6人のうち4人が女性です。

「はりま議会だより」は、昭



播磨町

和44年に創刊し、現在まで180号を発行しています。議会広報全国コンクールでは入賞の常連ということで、自信に満ちた説明を受けました。私たちの作った議会だよりをクリニックしてもらいましたが、ストレートで射した意見がたくさんいただき、今後の参考になりました。

表記については「新聞用字用語集」を用いて統一しており、参考にすべきと思いました。

今回の視察で学んだことを生かし、読みたい、読みやすい紙面づくりに取り組んでいきたいと思っています。



北村 登

Q 改正介護保険法への 対応は

A 地域ごとの説明会を開き、 住民の理解を図る

質問 介護保険法が改正され、平成18～20年度の介護保険料が見直される。

住民への説明が必要ではないか。

市長 介護保険の運営は介護保険事業計画を基本に実施されており、平成18～20年度を期間とする次期介護保険事業計画の策定を現在進めている。その中で保険料の改正が行われ、料金が上がることになれば、それぞれの地域に十分説明し、理解を得たい。

健康福祉部長 介護保険料の設定については、介護保険運営協議会から白山市統一の均一方式を採用すること、保険料段階を現行の5段階制から8段階制にすること、この結果、基準額は3960円になるとの意見であった。

質問 平成18年度から新たに地域支援事業として地域包括支援センターを設け、予防事業に取り組むが、高齢者の割合や地理的状況を踏まえたサポート体制の配置をどのように考えているか。

ト体制としては、生活支援ハウスの設置、介護予防事業の実施に際した送迎など、利便性に配慮したい。

健康福祉部長

要介護度区分の細分化、介護予防事業の実施、そして介護予防の拠点となる地域包括支援センターの設置が予定されている。白山ろく地域特性を考慮したサポート



介護保険運営協議会



小川 義昭

Q 公会計制度に 企業の会計を組み入れよ

A 独自の会計制度改革へ 検討研究を進める

質問 現行の公会計制度では、本市の適切な資産・負債等の財産状況の把握や一般会計・特別会計・第三セクターなど市全体の財務状況の把握が困難である。市民にとって正確でわかりやすい企業の会計制度の考えを組み入れ、財務情報のさらなる公開と共有化を図れ。

収入役 市の財務情報の不足を補うため、企業の会計の考え方を取り入れることは、市の行政運営のあり方を見直し、事業の効率化などを図る上で有用であり、市民への説明責任を果たす上でも意義がある。市民が理解できる財務諸表の作成に向け、今後さらに検討研究を進める。

質問 平成18年度の予算編成は、①厳しく無駄を排

し、住民に密接した費用をしつかりと確保せよ。②将来の財政基盤を確立するため、企業誘致やその立地基盤の整備に有効かつ果敢な投資をせよ。また企業誘致に関して、市民からの情報を生かし、市独自の情報提供者への成功報酬制度を確立せよ。

市長 予算編成では、徹底した事務事業経費の見直しを図るとともに、市民に密接した事業、重要課題に対応した施策への予算配分は十分配慮す



松任フロンティアパーク



竹田 伸弘

Q PET検査費用に 助成を

A 幅広い年齢層への助成を 検討している

質問 川北町は、PET検査の費用を9割助成している。白山市も助成できないか。

市長 多くの市民が利用できるような助成していきたい。助成対象者を広い年齢層に設定し、がんの早期発見、早期治療に資するよう、PET検査を推進していく。

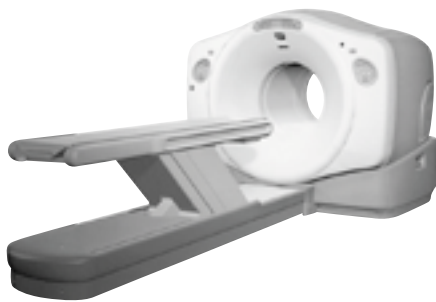
企画に取り組んでいる。旅行会社では国内旅行の、PETがん検診ツアーを企画しており、県内能登地区の病院では、韓国の病院と提携し、このツアーに対応しているところもある。

市民 や地域住民を優先することは当然だが、観光も視野に入れた取り組みを考えてはどうか。

市長 商品開発の可能性について検討する。

質問 スキー場の勤務は昼夜連続が続くため、敬遠されている。一部の市職員だけが過重労働等、不公平にならないよう対処すべき。スキーシーズンも含め労働基準法は、遵守されているか。

助役 地方公務員法の規定に基づき、条例・規則で対応している。支所職員の応



援体制で管理運営に当たる。

質問 スキー場の仕事を市の職員ではなく、ほかへ任すことはできないか。

助役 市直営の5つのスキー場は、平成18年度より財白山市地域振興公社が指定管理者として管理することになっている。公社職員においても労働基準法を遵守するよう指導していく。



大本 久男

Q 現状を再点検し 通学区域の見直しを図れ

A 極めて不合理なところは 前向きに検討したい

質問 松任地区では、通学区域の境界が入り組んでおり、変更を求める声を耳にする。一部では小学校と中学校の区域が整合性を欠き、校下意識の低下が懸念されている。また合併により、これまで違つ自治体にあつた学校が、最も通学距離の短い学校になるケースも出てきている。

社会環境が大きく変化しており、合併からやがて1年を迎えるのを機に地域の現状を再点検し、白山市の通学区域の見直しを図れ。

教育長 大幅な通学区域の見直しは困難だが、極めて不合理なところについて、は、町内会の総意のもと地元関係者と協議の上、取り組みたい。

**学校選択制を
検討してはどうか**

質問 児童・生徒の就学する学校の区域は教育委員

会が設定しており、それ以外の学校には就学できないのが現状だが、金沢市をはじめ、学校選択制を導入する自治体が増えている。白山市も合併し、旧自治体間の枠が無くなっていることから、通学区域と同様に検討してはどうか。

教育長 学校選択制の導入については、いろいろな問題を抱えている現状から、十分研究し慎重に進めていかなければならないと考えている。

2学期制について

質問 合併前より旧松任市、旧河内村では2学期制を導入している。合併後もこの2地区の小中学校に

おいては2学期制を実施し、あとの6地区は3学期制を実施している。同一市内に2学期制と3学期制が混在しており、どちらかに統一する必要があると思うが、どうか。

教育長 現在検討を進めている。具体的には、今年度は校長会を通じて学期制について意見交換をしている。平成19年度に方針を定めるための検討委員会を設け、白山市の学期制を定めていきたい。



清水 芳文

Q 新しい観光施策の 企画やアイデアを募集せよ

A 観光ホームページに 提案コーナー新設する

観光施策について

質問 ①新たな地域おこし事業として、これまでに無い新しい観光施策の企画やアイデアを一般公募してはどうか。②「白山市・遊びと楽しみのガイド」本の製作・配布を提案する。③白山青年会議所が行う地域センター試験事業の



高速道路SAのように利用客で賑わう道の駅「瀬女」

を新設する。②いろいろな角度から十分検討していく。③積極的に協力したい。④実現については、対象とする施設や経済面などを含め、今後研究したい。⑤誘導看板の設置を関係機関と協議し検討したい。トイレ対策は考えていきたい。

支援を求める。④白山ろく地域にライトアップやイルミネーションを活用し

た新しい観光スポットづくりを提案する。⑤道の駅「瀬女」を観光拠点にするために、分かりやすい案内

看板の設置やトイレの増設が必要ではないか。

市長 ①白山市の観光ホームページに提案コーナー

を新設する。②いろいろな角度から十分検討していく。③積極的に協力したい。④実現については、対象とする施設や経済面などを含め、今後研究したい。⑤誘導看板の設置を関係機関と協議し検討したい。トイレ対策は考えていきたい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

除細動器の設置について

質問 AED（自動体外式除細動器）を市内の主要施設に設置することを、6月定例会に続き再度提案する。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。

市長 平成18年度に松任海浜公園に1台設置し、順次必要とする施設に設置したい。



村本 一則

Q 地域再生基盤強化 交付金の活用は

A 18年度予算編成時に 活用を検討する

17年度予算、地域再生法の検討をしたのか

車優先の啓蒙を図れないか。

その他の質問

質問 地域再生基盤強化交付金によるインフラ整備について、内閣府に活用計画の申請は検討したのか。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。

市長 警察、県、公安委員会と協議のうえ交通の円滑化の観点から見直しを検討する。左前方車優先の啓蒙を関係機関と連携し図っていく。



優先道路標示は適当か

質問 合併前より基金が減り債務が増えたが要因は。 **答え** 各自治体にて住民の必要とする施設整備等を行ったことが要因である。 **質問** 12月補正予算が財政計画より62億円増額額となった原因は。 **答え** 合併後のサービス低下を招かないたための措置の結果である。平成18年度予算は財政計画の466億円を下回る予定。



自主防災訓練

質問 カラス対策に効果のある黄色半透明ごみ袋を本市にも導入できないか。

市民生活部長 実施している東京都杉並区の状態を見極めた上で、検討したい。



甚之助谷の地すべり危険地帯

質問 防火・防災意識高揚の啓発活動を進め、各町内会における自主防災組織づくりを指導するなど、災害に強い地域づくりを求める。

市長 防災マップと併せ、災害時の対応を掲載した防災マニュアルを作成し、各世帯へ配布する。



小島 文治

Q 防災マニュアルを作成し市民に配布せよ

A 避難場所を明記し各世帯へ配布する



古河 尚訓

Q 学校トイレ改修の年次計画策定を求める

A 教育的意義があり改修計画を策定する

質問 学校現場から施設改修の要望が出される中、トイレへの要望は多い。全国的に学校トイレの改善事業が始まっているが、白山市では大規模改修時にしない学校では改修機会がない。独自の年次計画の策定を求める。

教育部長 トイレを改善することで学校施設への愛着が生まれ、バリアフリーにすることで障害者や高齢者への優しさを学べ、その意義は大きい。

先進事例に倣い本市小中学校のトイレのあり方を十分検討し、大規模改修にかかわらず計画を策定し対応したい。

質問 学校給食の「統一メニュー」導入の背景には、県による栄養職員の引き揚げがある。食育を推進するため、自校調理方式の維持を県に強く要請され、それが困難であれば市独自の配置を求める。

市長・教育部長 今年度は合併という事情から従来のまま11名が配置されているが、来年度からは基準通り2名減が伝えられている。県に要望するが、かなわなければ市として配置したい。

質問 白山市には国・県の指定天然記念物である巨木が多くある。中でも「太田の大トチノキ」は迫力があり、どのような保全の手だてを取っているのか。また林野庁によれば、まだ多くの



さらなる補修整備が必要な「太田の大トチノキ」

巨木があるとのこと。自然保護、環境開発の両面から整備を求める。

教育部長 トチノキについては国・県の補助を受け、作業道の整備や樹木匠の指導による補修を行い、自然観察会も開催している。整備の遅れているカツラノキについては保全協議会もあり、まずは歩道の整備から進めたい。



本屋 彌壽夫

Q 認定農業者の基準見直しと 集落営農の支援は

A 県や農業団体との 密接な連携で取り組む

質問 平成19年度産米より経営所得安定対策等大綱が実施されるが、その中で品目横断的経営安定対策を導入することが国で決定した。認定農業者の基準に市内4農協で格差が生じている。一律にならないか。

金や「新たな米価下落の補てん対策」の基準は明確ではなく、米の生産調整に不安が生じている。

的に誘導すると同時に、指導者や組織リーダーの育成にも努力する。

市長 農協や県の指導機関の協力を得ながら基準の一元化と見直し作業を進めている。また農地の集積が促進されるよう、農業従事者の経営目標を平野部および中山間地域ごとに区別し、国が示す基準に準拠できるようにしたい。

米の生産調整は地域ぐるみで実施することが不可欠であることから、集落営農や農業生産法人等に対し、行政として今後どのようなかわり方をするのか。

市長 集落営農の組織化に対する市の支援策では、担い手がない、また少ない地域には集落、地域を単位とした経営感覚に富む集落営農の組織化を図り、経営所得安定対策に対応できるよう支援する。組織育成に必要な施策の啓発や農業生産法人化へのアドバイス、また機械、施設の整備に必要な経費については積極

質問 米政策改革推進対策では、生産調整を農業者と農業団体が主体となつて行うことになっているが、「産地づくり交付

金」や「新たな米価下落の補てん対策」の基準は明確ではなく、米の生産調整に不安が生じている。

質問 農地・水・環境保全向上対策では、担い手を支える地域の役割も重視されている。白山市には手取川七ヶ用水が完備され、その支線は町内会、生産組合が管理している。農業が地下水保全の最大協力者であることを考え、白山市の水田農業を支える認定農業者、集落営農組織に対して行政支援を求める。

産業部長 農業生産や多面的機能の基礎となる農地や、水路の環境保全活動を促進することを目的に、効果の高い行政支援をする。



北嶋 章光

Q 合併特例債事業の 行方は

A 限られた予算の中で 慎重に対応する

質問 美川地区のまちづくり総合支援事業として国から認可を受けた都市計画道路美川大浜水源地区の整備が、合併特例債事業から漏れている。市民が待ち望んでいる事業でもあり、ぜひ再検討してほしい。

現在盛況な湊健康増進センターについては、白山市民全体の健康づくり施設ととらえ、整備を望む。

また美川すこやかセンターについては、修繕工事を省いたのか。それとも改修は行わないのか。

市長 美川大浜水源地区線整備については、どのような補助があるか検討する。湊健康増進センターについては、どのような財源を充てるか将来検討する。美川すこやかセンター

質問 市内のゴミ収集業者が、他町の食品工場の産業廃棄物を一般廃棄物として市の松任石川環境クリーンセンターへ搬入していた問題をどのように

考えているか。企業からの報告、また損害状況などはどうか。今後、市としてどのような対応をしていくのか。

市長 事件発覚後、文書により厳重に注意し、処理費用の弁済等を含めた業務改善を強く指導命令した。市の処分については、警察や県の動向を見て判断する。また事業系一般廃棄物にかかる収集運搬業の許可については、来年度より地域限定を撤廃したい。



改善を強く指導命令した。市の処分については、警察や県の動向を見て判断する。また事業系一般廃棄物にかかる収集運搬業の許可については、来年度より地域限定を撤廃したい。



河原 秀昭

Q 市全域での 防災訓練の実施を

A 年度内に職員の 災害情報伝達訓練を実施する

質問 市全域での防災訓練の実施が必要ではないか。

市長 市では本庁・支所の各部局の初動体制の役割を明確にするともに、必要な資機材の整備をはじめ対策内容のマニュアル化を図っていく。

質問 昼・夜と時間を変えて避難訓練を実施してはどうか。

市長 実施に当たっては、関係機関や市民の理解も必要なことから、今後検討していく。

質問 第1次避難場所の見直しを。

市長 町内会の集会所など第1次避難施設として指定している施設について、耐震の状況を調査していく。

質問 災害弱者のデータ掌握を図る。



白山町の避難場所

市長 年2回、民生委員の協力を得て、実態等について把握している。

教育部長 学校施設の耐震化について、昭和46年以前に建設された学校については白山市学校統合検討委員会でも答申された改築計画に従って順次改築を進める。



筈木 進

Q 震災対策の 整備拡充を

A 備蓄品や情報網の 整備を鋭意進める

質問 活断層における地震発生確率では、石川県は全国でも4番目に高い。被害を減少させる対策など今後の取り組みと考えを問う。

市長 新潟県の中越地震の際には、旧山古志村をはじめ山間地の集落が孤立したことから、災害時における速やかな情報伝達や備蓄の重要性を改めて痛感した。今後、災害用備蓄品の整備をはじめ、情報伝達のための防災行政無線や光ファイバーの整備を鋭意進め、市民が安心して暮らせる地域の構築に努力する。

質問 ダムサイトの国道157号の災害通行止め時の迂回路として、早期に市道ダム1号線の全線開通を求める。

市長 国土交通省の調査結果と対応を見て復旧方法を検討する。災害があった場合、白峰地区などを孤立させない対策として、最も大切なことだと感じている。

質問 土砂災害危険区域の調査状況と被害減少対策は。

市長 本市の調査対象箇所は171カ所、これまでに28カ所を終えている。

県の防災事業は、重要度の高い箇所から整備し、市としてはさらに防災事業のハード対策と併せて、ソフト対策の促進を関係機関に強く要望する。

市の防災事業は、重要度の高い箇所から整備し、市としてはさらに防災事業のハード対策と併せて、ソフト対策の促進を関係機関に強く要望する。

市内観光施設の展望は 質問 合併してから現在の入り込み状況は全体的に落ち込みがちだが、今後の取り組みと展望を問う。

観光推進部長 今年のスキーシーズンに向け、市内小学5年生と市外3小学校のスキー遠足が決まり、3つのスキー場で25校の利用となった。4月からは指定管理者制度の導入により、行政の枠にとらわれない自由な営業活動や独自のPR、施設の有効活用が行われ、これまで以上の集客が期待される。市としても指定管理者との連携、独自の観光イベントや誘客活動を積極的に展開し、各観光施設の入り込み客の増加を図っていく。



中西 恵造

Q 上下水道料金の統一を急げ

A 18年度から料金を見直す



処理費用57円/㎡の翠ヶ丘浄化センター

解消と公平公正な白山市民の一体感をつくり出していくことが大切である。

改定された料金体系で平成18年度上下水道の予算が編成されることを求める。

市長 平成18年度から料金を見直し、ご期待に沿うよう努力していきたい。

子供たちの安全確保を

質問 美川地区の上下水道事業はしつかりとした赤字だが、その赤字分は、水道事業会計の赤字補てんに使われている。それにもかかわらず、赤字地区の料金より高いまま放置しておくことは問題である。

市民生活の基本の水道料金を一刻も早く統一することにより、不公平感の

質問 通学路の危険性と危険箇所を今一度認識し、子供たちの安全確保に万全を求める。

教育長 子供の目線に立った危険箇所の再点検と、学校、警察、地域、そして行政



監視の先頭に立つ教育委員会 (北陸中日新聞提供)

が一体となり隅々まで監視の目を届かすことが大切。

PET検診に助成を

質問 PET検診は高額となる。市民の疾病予防、健康管理の一助として、利用しやすい助成制度の導入を望む。

市長 広く多くの市民が利用できるよう助成を検討したい。



西川 寿夫

Q 観光標識に外国語の併記を

A 早期に整備を進めたい

質問 海外からの観光客に備え、観光地における標識・案内板に外国語の併記が必要ではないか。

観光推進部長 県や旅行代理店と連携しながら、韓国・台湾・中国からの誘客を図る必要がある。

白山市観光マスタープランに複数の外国語併記のサイン計画を盛り込む予定で、国・県の支援制度を活用しながら早期に整備を進めたい。

食育について

質問 食育の取り組みを問う。

市長 給食で地域産物を紹介するなど、子供たちが関心を持てるよう指導している。

子供たちが生涯にわた



外国語併記が待たれる観光名所

米の生産目標数量(単位トン)

	H18年	H17年	H16年
白山市	18,204	18,372	18,136
旧松任市	12,042	12,249	12,014
旧美川町	1,173	1,113	1,117
旧鶴来町	2,754	2,760	2,755
旧河内村	229	230	238
旧吉野谷村	240	245	244
旧鳥越村	1,712	1,719	1,713
旧尾口村	51	53	52
旧白峰村	3	3	3

質問 来年の集落営農座談会等の予定と米の生産目標数量を示せ。

平成19年度からは、市全域において一律の生産調整方針となるのか。平野部、山間部には条件に差があり、問題が多い。慎重な協議が必要と考えるが、どうか。

市長 営農座談会等は、1月末から2月中旬に開催する予定。

産地づくり対策については、これまでどおり取り組む。



寺越 和洋

Q 平成19年度以降の米の生産調整は

A 慎重に対応する

平成19年度以降は、市全体として一律配分でなく、旧市町村の地域性に配慮し慎重に対応したい。

斎場の使用と整備

質問 斎場について、松任斎場は旧松任市、白山郷斎場は旧5村、旧鶴来町、野々市町、手取郷斎場は旧美川町、能美市、川北町で運営されているが、使用する市民の要望により、葬儀会場から近くの斎場を選べるようにせよ。また今後、白山郷斎場の新築、改築計画はあるのか。

市長 斎場の使用は、弾力的に運用する。

市民生活部長 将来的には、提案どおり周辺の環境と調和した告別の場にふさわしい荘厳な施設としたい。

地籍調査進捗率(H16年度末)

白山市	13.1%
旧松任市	100%
旧美川町	36%
旧鶴来町	13%
旧河内村	0%
旧吉野谷村	0%
旧鳥越村	0%
旧尾口村	0.6%
旧白峰村	0%

地籍調査

質問 地籍調査の進捗状況と来年度の予定を示せ。未実施地区について、迅速な対応、早期完了を求める。また、専任部署と職員の増員が必要ではないか。

市長 平成18年度は、若草町と日向町の一部について行う。

未実施地区については、積極的に取り組む。

職員配置については、本庁部署の充実と事務の一元化により事業促進を図りたい。



改築が決まった美川小学校



北川 謙一

Q 美川小改築と放課後児童クラブの施設は

A 新校舎22年完成へクラブ施設も敷地内で

質問 白山市学校統合検討委員会の答申では、白山ろくの統合小中学校については平成20年4月の開校を目指すこととされ、市内32の小中学校の中で建築年次の最も古い美川小学校の改築を次に整備するとされている。築後42年を経過し、塩害で雨漏りや窓が開かないなど支障もあり、早急に改築を望む。

私の6月議会一般質問に対し、放課後児童クラブを学校敷地内に併設して建てることの答弁だったが、先に示された児童福祉施設整備構想の中には、当該施設が載っていない。

美川小学校改築の中に含まれていると解釈しているが、それでよいのか。また建設に当たり、学校に隣接する個人所有地を校舎敷地にするため購入してはどうか。

市長 具体的な建設スケジュールについては、平成18年度に美川小学校建設基本構想検討委員会を設け、基本設計、工事などを経ておおむね平成22年頃完成の予定。

放課後児童クラブの建設については、小学校の改築に合わせ、敷地内での建設を予定している。土地については現地を見て検討する。

質問 コミュニティバス路線の変更について、現在石立町、北島町を走っているコースをボストンガーデン(鹿島平)まで延伸できないか。鹿島町などを合わせれば、600世帯2000人を超える人口がある。

企画財政部長 現在ボストンガーデンに近い石立町まで循環バスが運行している。このコースは、松任駅から笠間、石川地区を回り、中央病院、松任駅へ戻るもので、5分ほどの運行時間の延長を理解いただけるなら試行に向けた検討を行いたい。



宮岸 美苗

Q 通学路の総点検と、その安全対策を図れ

A 子供の目線で再検討し、安全マップの作成も

から開始したい。

質問 地域住民レベルで、子供の安全を守る体制づくりに力を入れよ。

教育長 従来の地域の子ども見守り員の組織に、保護者・地域の協力が得られるよう呼びかけていく。

質問 通学安全指導員の増員を。通学路の照明は、優先して設置を。

教育長 通学安全指導員は、見回り時間延長など、安全確保のため前向きに取り組んでいく。照明は必要に応じ設置していく。

少子化対策

質問 ファミリーサポートセンター事業の計画について聞く。

市長 福祉の郷で開設予定の子育て支援センターで来年4月から準備し、10月



スペースの拡充が求められる「親子よろこびの広場」

質問 親子よろこびの広場あさがお」のスペースを拡充せよ。

市長 プラスあさがお内の訪問看護ステーションが福祉の郷に移動した時点で、跡地を利用できないか検討する。

大型店出店問題

いる医療機関もあるので、今後、公立松任石川中央病院など医療機関と研究していきたい。

質問 鶴来地域に大型商業施設進出の話があるが、町づくりの視点から、市長として反対の意思表示を。また商業圏が大きい場合、県に対して広域調整するよう働きかけよ。

市長 大型店出店についての考え方は、従来どおり。超大型店は、周辺市町にも影響があり、広域調整の必要性は高まっている。当面、来年度の法改正など見極めながら対応していく。



宮中 郁恵

Q 多子世帯や協賛企業に市独自の支援策を図れ

A 広報・あさがおテレビ等で積極的に知らせる

質問 1月1日よりプレミアムパスポート事業が開始されるが、利用者や協賛企業の出足が思わしくないと聞く。進捗状況はどうか。

また対象世帯に個別通知し、協賛企業を「優しいお店紹介」で宣伝せよ。

市長 対象1715世帯の内544世帯が申請。協賛企業は44企業91店舗。市は博物館・美術館など10施設を登録した。

健康福祉部長 個別通知は必要があれば行うこととし、少し状況を見たい。

質問 ボランティア事業の充実を図るため、選任のコーディネーターの配置と、建設予定の(仮称)中央福祉館にボランティアセンターの設置を。相談、登録のあつせん、



処理場跡、どうする

質問 富光寺町地域し尿処理施設の跡地利用を示せ。稼働停止から8年近く経過し、建物の老朽化が進

情報提供など、ボランティアにかかる仕事を社会福祉協議会の職員が兼務しているが、専門員の設置は。

市長 より一層の人材育成に努めコーディネートの充実を図る。センターは福祉の郷構想基本計画で施設整備が予定されている。

質問 介護保険運営協議会での審議の経緯と低所得者への負担軽減措置を聞く。

4地域均一方式を採用し、基準額3960円

健康福祉部長 次期介護保険料の基準額を旧保険者ごとに設定すると、例えば、白山ろくは3200円が4210円と高額になるため均一方式を採用。所得に配慮した8段階制をとる。(現在5段階制)



吉田 郁夫

Q 加賀海浜道路の整備は

A 整備促進に努めていく

質問 この加賀海浜道路の整備は、平成12年11月に加賀海浜道路建設期成同盟会より県へ要望されている。

本市における整備計画

は、主要地方道金沢美川小松線であり、松任地内から美川地内へ至るまでの区間に当たる。また、その区間内において新設バイパスルートも検討されている。

この新設バイパスルートが検討されている主要地方道金沢美川小松線の朝夕の通勤時間帯における交通渋滞は、既に飽和状態に達しており、安全な市民生活を営む上において大きな課題となっている。この区間における渋滞解消が重要であり、この道路整備と新設バイパス計画

の早期ルート決定、整備着工を願う。

本市海側地域の将来構想を考える上で、ぜひとも必要な整備計画事業である。

市長

市の

重要な基幹道路と位置付けており、整備について検討を行う。主要地方道金沢美川小松線は朝夕に慢性的な交通渋滞があり、野本交差点から美川方面への4車線化を県に強く要望していく。



主要地方道金沢美川小松線の渋滞状況

バイパス区間、現道を利したルート計画、整備しながら整備促進に努めていく。

編集後記

地球温暖化が心配されている近年には珍しく、12月中に寒波が襲来し大雪となりました。12月12日から3日間、一般質問の間も降り続き本庁舎付近は積雪10cm程度でしたが、白峰地区では積雪170cmという報告を受け、改めて白山市の広大さを実感いたしました。

さて、市町村合併からはや1年、予想はされたものの財政状況の厳しさは変わらず、来年度予算編成に当たり、歳出の削減方針が執行部より提示されました。そうした中、白山市の一体化に向け何を優先し、何を重点化するのか、議会の責任もより大きくなってきました。

今後ともこの「議会だより」を通じて市民の皆さんに議会の審議状況をできるだけ正確にお知らせできるよう編集委員一同努めていきたいと思っております。率直なご意見・ご感想を事務局にお届けいただければ幸いです。

(編集委員一同)

編集委員会

委員長 中西恵造

副委員長 古河尚訓

委員 清水芳文 寺越和洋

村本一則 南 清人

藤枝市議会との親善交流

11月17日、18日と藤枝市議会正副議長を表敬訪問しました。旧松任市より姉妹都市として相互に交流を重ねてきましたが、合併後も変わらず続けていくことを約束し、両市の発展を誓いました。



変わらぬ交流を誓い、握手を交わす(左から白山市岡田副議長、徳田議長、藤枝市館議長、内藤副議長)

◇◇◇◇◇
ご意見ありがとうございました。
表紙上部にあります号数表示を、事務局に寄せられた市民の方のご意見を参考に、今第3号から変更させていただきます。

市民の声

今回は、あさがおTVが開局した
美川地域の市民の方からご意見をいただきました。



「あさがおテレビ」が 美川にやってきた

濱上 ミチコさん
(美川新町)

メディアの時代です。買い物の折にも携帯電話で話し合っている光景を目にします。やがて家庭でも、店先の品物が画像を通して買うことができる時代も来るそうです。

今、「あさがおテレビ」が美川に入り、白山市議会の中継を見ることができるようになりました。これは市政を身近なものにしてくれる点でもありがたいことです。

映像の力は素晴らしいものです。あたかも議場において傍聴している気になります。どのように議会が進められているのかはもちろん、市政に対し議員さんたちがどのように意見を出し合い、議事が進められているのか、様子をつぶさに見ることができます。ますます政治に関心を持つ人が増えてくることでしょう。

日ごろより議会には大きな期待を寄せている者の一人ですが、これを機会に多くの市民が、さらに市政に関心を持っていただきたいと思います。



融和と多様性

山本 庄一さん
(西米光町)

新市は、私の住む旧美川町に比べ、人口で8倍強、面積でも80倍強になります。50年前の町村合併で美川町が誕生したときの課題として、3校下の融和が挙げられましたが、最後までその垣根は残っていたようです。

今白山市の広さを考えると融和や一体化も大切ですが、風土や歴史の違いから来る各地の文化・伝統を大切にしていきたいものです。もちろん各種料金や行政サービス面での統一化、均一化は当然として、ほかの部分での多様性から来る豊かさ、違いの大きさから生まれるエネルギーを宝として尊重し、生かすべきです。議員各位の活動に期待しています。

なお、議会だよりの発刊については、これまでより広くなった分、分からないところも多くなり、重要性が増したので、編集の苦労は多いでしょうが、頑張ってください。



「あさがおテレビ」で 市議会が身近に

堀 純子さん
(湊町)

議会では、市民から選ばれた議員によって市民が住みやすい地域社会を目指して、条例作りや予算審議という業務に日々健闘されておられると思います。

一市民であり私たち家庭を持つ女性も、どうしたら家庭が幸せに生活できるか日々ない知恵を絞っております。家族の一人一人の立場に立ち、今一番何が大切かを確認しながら、思いやりを持って事を進めていくのは大変難しいことです。

議会における条例作りや予算審議等は、一見家庭社会とはかけ離れているようですが、人を大切に、そして幸せな生活を営めることを目的にしている点では、社会と家庭と規模が違っていても同じではないかと思います。

今、「あさがおテレビ」というケーブルテレビで議会の様子が放映されることにより、議会というものが身近になりました。メディアを通して一方的に眺めるだけでなく、私たちの求める行政が行われているのかを、今後も見極めていきたいと思っています。



市議会一般質問を 傍聴して

中山 進さん
(美川北町)

先日は合併後の市議会を傍聴させていただき、感想を一言述べさせていただきます。

傍聴は、一般質問という建前上からか総花的であって、各議員からの発言には重複も多々あり、一方、選出地域の問題点を取り上げた案件も多いように見受けられ、行政執行側も「それらの提言は重要であり、関心を持って検討し善処します」との回答では、何ら具体的展望の見えない議論であって、単に儀式的なものと思えなかった(国会・県会も同様ですが)。

しかし、市議会は合併により議員定数削減を受け、これに対応した効率的な議会運営や議員活動と地域代表の町内会長との責任分担を明確にして、活用を図るべきではないでしょうか。

合併後約一年間、町会連合会の役員として微力を尽くしてきましたが、未熟・浅学な自分には課題が大きすぎ、何ら成果が上からず強く反省していますが、今後も町内会長としての基本に基づいて課題の解決に向かって関係者との合意・援助を求めて活動の推進を図っていききたいと考えています。